

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名					国民年金事務事業					②事業番号		4101	
③事業類型		1. 法上(必須)事業				④開始年度		昭和 34 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等		その他 法令等の名称 国民年金法等	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他			
⑧関連予算科目コード				款 3		項 1		目 5		細目 2			
⑨担当部名				⑩担当課名								会計 一般会計	
福祉保険部				保険年金課									

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔1〕の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	法定受託事務である以上、業務内容は他市町と同じであり、また年金事務所の出先機能的な役割を担っているため、市民の利便性が図られている。				

〔2〕有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	国民年金事務事業の更なる円滑な運営に努め、市民サービスの向上を図る。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			ア. ある アイ. ない	市民に対して、法改正などによる手続きの変更点や、年金制度の改正などについて、広報誌やホームページ以外のものも活用して、周知・啓発を図る。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—				

〔3〕効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔3〕の評価	B
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)			アイ. ある イ. ない	最低限の人数態勢で事業を行っているが、現状ではかなり困難な状態である。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	法定受託事務事業を運営しており、年金事務所の出先機能的な役割を果たしている関係上、市独自の施策を行うことは難しいが、市民サービスを考える面で、頻繁に改正される年金制度の周知・啓発を進めていきたい。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞		
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		日常的な事務では効率化を図ってコスト削減を進めていき、一方、法改正等に伴う電算システムの改修等にも適宜対応していく必要がある。また、年金の窓口対応ができる職員を保険年金課内で増やしていくことも、市民サービスの向上を考える点で有効であると考え。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—